



# 病診連携通信

## 第 27 号

公益財団法人  
湯浅報恩会  
寿泉堂総合病院  
平成31年1月

### 味がおかしい！ 一味覚異常に対する治療一

「味がおかしい」、「味がしない」等の味覚異常を訴えて来院される患者さんは少なくありません。

味は酸味、塩味、甘味、苦味の4つの基本要素からなり、一般的に、苦味>酸味>塩味・甘味の順で敏感に感じるとされています。食べ物の多彩な味は、**口腔内(舌、口蓋、扁桃)**や**鼻咽喉に存在する味蕾(みらい)**と呼ばれる**センサー**により感じとります。成人で約10,000個あるといわれる味蕾は45歳以降で変性が起こり、70歳を過ぎるとその数は急速に減少するといわれています。

味覚異常をきたすと考えられている病気

- ① 味を伝えたり、感じる神経の障害
- ② 口腔の乾燥や口内炎、副鼻腔の異常
- ③ 病気の影響：貧血、糖尿病、肝不全、感冒、**低亜鉛血症**
- ④ お薬による副作用：口腔の乾燥誘発、味覚関連神経の障害
- ⑤ 心因性・精神障害によるもの



近年、**味覚異常を訴えて当科を受診される患者さんで血液検査を行うと、亜鉛が不足している**ケースを少なからず経験します。



低亜鉛血症がみられる患者さんに対しては、魚介類や肉、ナッツなど亜鉛を多く含む食べ物の摂取を促していますが、不十分な場合には飲み薬で亜鉛を効率よく補充できるようになり、味覚異常の改善を認めるケースが多くなりました。

味覚異常でお悩みの患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽にご相談・ご紹介くださいますようよろしくお願いいたします。

(歯科口腔外科:小坂橋 勉)

寿泉堂総合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂総合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または  
☎024-932-6363 (代表) にお問い合わせください。